



麻生のまちづくり



麻生まちづくり市民の会広報

第6号 2004年6月



再整備で完成した隠れ谷公園

平成16年4月に再整備工事が完成。それとともに周辺住民の皆さんによる公園愛護会「隠れ谷倶楽部」が誕生し、5月1日にはフリーマーケットを開催しました。



にきわう「隠れ谷倶楽部」が主催のフリーマーケット 於：隠れ谷公園広場

2面と3面記事へ

麻生まちづくり市民の会、今後のスケジュール(どの会も傍聴が出来ます。会場は区役所地域振興課に問い合わせ下さい)

運営委員会…………… 6月8日(火曜日)18時から、6月22日(火曜日)14時から

実践部会…………… 6月3日(金曜日)14時から山口台会館

パートナーシップ推進部会… 6月1日(月曜日)18時30分から

バックアップ部会…………… 6月2日(水曜日)14時から

公園を舞台にコミュニティづくり！

～上麻生隠れ谷公園愛護会「隠れ谷倶楽部」誕生～

市民の会広報第4号でお知らせした、上麻生隠れ谷公園（麻生区上麻生3丁目）の再整備工事が完成し、これまでは手入れもなく、外からの見通しも悪く、暗かったのですが、今では1日中、幼い子どもからお年寄りまでが集い、憩う、明るい公園になりました。

今後公園の手入れなど環境維持は、この工事前に立ち上げた、上麻生隠れ谷公園再整備ワークショップのメンバー（市民の会パートナーシップ推進部会もかかわってきた）だった公園周辺の住民が自主的に行います。そこで周辺住民は公園愛護会を作り、「隠れ谷倶楽部」と名付けました。公園愛護会が花壇の花を替え、低木の刈り込み、笹や下草刈りなど、「できるときに、できるだけ参加しよう」を合い言葉に、楽しい活動を目指し



ます。という素晴らしい会の誕生です。

また、公園管理だけではなく、コミュニケーションの場にもしていきたいとの考えから、5月1日にフリーマーケットが開催されました。当日は初夏のような快晴に恵まれ、予想を越える大盛況となりました。リサイクルの子ども服などの衣料品、オモチャ、絵本、食器などのお店が31も集まりました。出店側も客側も赤ちゃんや幼児、小

学生を連れた若いパパ、ママが圧倒的に多く、ほほえましく、なごやかな情景がくりひろげられました。ダーツやヨーヨーなどのゲームや手作りのクレープ、おにぎり、そして綿飴などの店も長い行列が出来、大繁盛でした。

新しく設置された遊具で夢中になって遊ぶ子どもたち、木陰のベンチで語らうお年寄り、ピクニックテーブルでランチを楽しむ家族連れなど、公園で展開されていくであろう活動に期待したくなる光景があちこちで見られました。

隠れ谷公園ワークショップについて

パートナーシップの観点から見て

住民や公園を利用する人達が何を考えているか、何が重要なのか引き出すにはどういう手法が有効か？

行政側がお決まりのシステムやルールに乗せようとするため、住民に参加してもらい、意見を反映したほうがいかに近道であるかをわかってもらい、共に新しいシステムやルールをつくる。行政が住民に近づいてくることから始まる。

最初はなじまないことも何度か同じ目的で率直に意見を交換していると方向が見えてくる。

現地の利用状況の把握を住民が毎日チェックしたことが良い方向につながってきている。本当の実態把握。

多くの人の意見は良い結果を生み、参加の意義が出てくる。

管理体制まで考えた運営組織の芽が見え始めたことはワークショップの最大の成果であった。

市民の会パートナーシップ推進部会長 白井 勇

隠れ谷（やと）名称の由来 かくれ谷戸 室町時代の頃、北条・上杉の小沢原の戦いで、北条側の軍勢が隠れ、武器を隠したところなので、隠谷戸と呼ばれた。谷（やと）と谷戸（やと）は同義。

小沢原の戦い：享禄3年（1530年）上杉朝興は北条氏の小沢城、瀬田谷城を攻め、さらに武蔵府中に進出した。これに対し、北条氏康は多摩川流域の小沢原（詳しい地域は各論あって不明）にて合戦、上杉朝興勢を大敗させた。この戦いを「小沢原の戦い」という。

参考にした資料は <http://village.infoweb.ne.jp/~fwgd0891/> 他

公園愛護会「隠れ谷^{やと}倶楽部」

隠れ谷倶楽部 代表久田勝紀さん

麻生小PTAとして参加したワークショップ。私にとって初めての経験であり、様々な立場で参加しているメンバーとの意見交換は、とても和やかで職場では得られないものを学んだ気がしています。

何よりも家族が住む地域や公園をより身近に感じられる様になり、通りで挨拶を交わす人が増えたことは嬉しいかぎりです。



予算消化型議論や発注先業者の限定等、改善すべきと思う点もいくつかありましたが、これらもより住民が参加することにより変わって行くものと思われます。

すっかり見通しが良くなり、とても「隠れ谷」とは呼び難くなった我が街の公園。今後一住人として責任を持ち、温かく見守っていければと願っています。

久田さんは昨年度の麻生小学校PTA会長で、隣接する隠れ谷公園のワークショップにPTAの立場から運営委員として関わり、この度新設した公園愛護会「隠れ谷倶楽部」の代表となりました。



隠れ谷倶楽部 会員の品川尚慶さん

私の住むマンションの隣に隠れ谷公園があります。大きなマンションに周りをすっぽりと囲まれた、なかなかの立地ながら、開園20年を経て、いまや鬱蒼と木や草が生い茂り、人々の足を遠ざけるばかりでした。



もったいないなあと思いつつも、しかし個人として何ができるかもわからず数年が過ぎてゆきましたが、昨年の8月に突然、以前参加していた「まちづくり会議」のご縁で、公園再整備のワークショップへお誘い頂きました。

せっかくの公園です、近所の皆さんがもっと気軽に集い憩える「使える公園」になればいいなという思いでワークショップを重ねました。麻生小のお子さんや働き盛り、近所の高齢の方にまでも多くの意見を頂きながら、少なくともないけれど限られた予算の使い道を議論するのはたいへん楽しい経験でした。

さてその出来は？ 皆さんどう思われますか？

明るく甦ったこの公園をどう活かしてゆくか、これからは本番です。公園愛護会「隠れ谷倶楽部」を作りました。単なる公園管理に留まらず、公園が近所みんなのコミュニケーションの「場」になるように、活動してゆきたいと思います。皆様のご支援・ご参加をお願いします。

品川さんは隠れ谷公園の、ワークショップ運営委員長として活躍しました。

まちの課題解決に向けてGO!

第2回「麻生まちづくり市民の会」会員総会を開催しました

平成16年度の会員総会が4月17日(土)に開催されました。10名の新入会員を加えた78名の会員によって2年目の活動を進めます。まず15年度の活動報告、決算報告が承認されたあと、16年度の活動計画と予算の説明が行なわれました。

1 初年度の活動においてあげられた課題をふまえ、市民の会活動終了後の方向性についても視野に入れながら検討する。

2 運営に関する取り組みでは

1) 広報活動の充実(広報紙発行と市民の会Webサイト開設の検討)

2) 区民に活動を中間報告する場としての集いを開催する。

3) 地域で活躍する他の組織・団体との連携を強める。

4) 各部会の企画内容を調整する機能を充実させる。

3 活動に関する取り組みとしては

1) 継続企画の推進と新規企画の検討

2) 区民まつりへの参加

以上の説明のあと、会員から、企画の調整が必要というのは、部会間のコミュニケーション不足があるのではないかと、との意見に、会長から「企画内容連絡調整会議の開催や企画審査前に企画内容説明会を開催するなどの取り組みが対処策になる」と説明がありました。このあと承認され、会員一同活動推進への責任感と緊張感を新たにしました。

平成16年度役員紹介

会長 : 山崎 優

広報担当副会長: 碓井勝次

経理担当副会長: 北島信夫

専任運営委員 : 曾我恵美子・竹市八郎

会計監査 : 内田進三・松岡秀子

実践部会長 : 田島秀夫

パートナーシップ推進部会長: 白井 勇

バックアップ部会長: 平林謙三

今年度は各部会の活動を企画ごとに積極的に推進

実践部会は、麻生区のコミュニティー・ベースづくりPart 。 a) 麻生区の緑の保全市民ネットワークの設立と運営。 b) 公園・緑地の維持管理活動。 コミュニティーバス運行実験の結果報告説明会等と地下鉄2計画の説明会開催等。

地球温暖化防止のための麻生区CO2削減宣言活動の実施。などに取り組みます。

パートナーシップ推進部会は、行政などから出された3つの課題である、旧あさひ銀行グラウンドに建設される『地域貢献施設』 万福寺区画整理事業地内に建設予定の『アートセンター』 都市計画マスタープラン麻生区構想区民提案の実現化に向けた『都市マス実現化』。また、市民によって検討されてきた、様々な課題を基に整理検討を進め、「実現化に向けた課題提案」を進めます。

バックアップ部会は、市民活動を支える環境整備のための活動に取り組みます。今年度は、区民活動支援ルームの運営。市民活動活性化のための交流会・学習会などの企画・実行。活動の場確保に向けての現地調査。などに取り組みます。

編集後記 麻生まちづくり市民の会も2年目を迎えました。第6号は、新しく誕生した公園愛護会「隠れ谷倶楽部」を特集しました。近隣住民が自分たちの公園という意識を高めながら、お互いに親睦をはかる場にするには素晴らしいことです。皆さんの近くに愛護会のない公園があれば、考えて見ませんか。この号から新委員が3名増え、広報委員会も気持ちを新たに、紙面の充実に努めてまいります。

(五十嵐)

発行: 麻生まちづくり市民の会広報委員会
連絡・問い合わせ先: 麻生区役所地域振興課 電話965-5116